【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年10月12日
【四半期会計期間】	第25期第２四半期(自　平成24年６月１日　至　平成24年８月31日)
【会社名】	株式会社ワンダーコーポレーション
【英訳名】	WonderCorporation
【代表者の役職氏名】	代 表 取 締 役 社 長　　日　下　孝　明
【本店の所在の場所】	茨城県つくば市西大橋599番地１
【電話番号】	029(853)1313（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長　　塚　田　英　雄
【最寄りの連絡場所】	茨城県つくば市西大橋599番地１
【電話番号】	029(853)1313（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長　　塚　田　英　雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目８番16号）

第一部 【企業情報】

第１ 【企業の概況】

１ 【主要な経営指標等の推移】

回次		第24期 第２四半期 連結累計期間	第25期 第２四半期 連結累計期間	第24期
会計期間		自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日	自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日	自　平成23年３月１日 至　平成24年２月29日
売上高	(千円)	30,696,418	32,930,817	65,689,451
経常利益	(千円)	470,318	354,337	1,379,227
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	(千円)	△761,123	49,728	△331,818
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	△761,164	68,520	△331,550
純資産額	(千円)	9,745,224	10,317,504	10,173,694
総資産額	(千円)	27,058,997	29,944,650	26,746,653
１株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期(当期)純損失金額(△)	(円)	△14,880.52	951.15	△6,487.30
潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	―	―	―
自己資本比率	(%)	35.9	34.3	37.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△7,026	1,088,633	37,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△231,855	△577,753	△544,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△106,319	41,259	△277,776
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	1,403,767	1,516,370	964,230

回次		第24期 第２四半期 連結会計期間	第25期 第２四半期 連結会計期間
会計期間		自　平成23年６月１日 至　平成23年８月31日	自　平成24年６月１日 至　平成24年８月31日
１株当たり四半期純損失金額(△)	(円)	△5,504.77	△936.53

(注) １．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２．売上高には、消費税等は含まれておりません。
３．潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
４．第24期第２四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号　平成22年６月30日)を適用し、遡及処理しております。

２ 【事業の内容】

当社は平成24年６月１日付で、株式会社サンレジャーを連結子会社といたしました。これに伴い、新たなセグメント情報の区分として、TSUTAYA事業を追加しております。

当社グループは、平成24年８月31日現在、当社及び連結子会社２社で構成されております。当社グループは、ゲームソフト・映像ソフト・音楽ソフトを中心としたエンタテインメント商品、書籍、携帯電話、化粧品、レンタル、メガネ及びこれらに関連する商品の販売店の直営並びにＦＣ事業を主たる業務としております。その他、エコ・プロデュース事業、インターネット・カフェ事業、Ｅコマース事業等を営んでおります。

当第２四半期連結累計期間における、各部門に係る主な事業内容の変更は、概ね次のとおりであります。

（１）WonderGOO事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

（２）WonderREX事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

（３）TSUTAYA事業

株式会社サンレジャーのTSUTAYA事業は、ゲームソフト・映像ソフト・音楽ソフト・雑誌の販売及び映像ソフト・音楽ソフトのレンタルを行っております。

（４）その他事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

第２ 【事業の状況】

１ 【事業等のリスク】

当第２四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

２ 【経営上の重要な契約等】

当第２四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

３ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（１）経営成績の分析

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年３月の東日本大震災からの復興需要などを背景に緩やかな回復傾向にあるものの、欧州債務危機の再燃、円高の長期化などの影響を受け、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは更なる事業拡大のため、資本業務提携先である株式会社サンレジャーの株式を６月１日に追加取得し、子会社化いたしました。

WonderGOO事業におきましては、お客様のスマートフォンで認証フリーの高速Wi-Fi環境と店内限定コンテンツをお楽しみいただけるサービス「WonderGOO Touch!」を４月より開始いたしました。特にコンテンツの一つである「LIVEonline」につきましては、WonderGOO守谷店のライブスタジオ「GOOst」で行なっているライブ映像を直営全店に同時配信しております。また、FMラジオ放送局bayfm様との共同番組として「Touch! the DREAM」の生放送を店頭に動画配信しております。今後も、この「WonderGOO Touch!」を通じて、店舗をコンテンツとお客様が集まる場所、ネットとリアルが融合するハイブリッド型店舗として進化させてまいります。

商品面では、株式会社サンレジャーの子会社化に伴いレンタル商品が好調に推移したものの、携帯電話の販売台数の伸び悩みや、コミックの主力タイトル不在による書籍部門の売上不振により、厳しい状況が続きました。

WonderREX事業におきましては、買取品の補修を集中して行うリペアセンターを業務拡大のため移転し、補修効率の更なる向上に努めてまいりました。

商品面では、宝飾祭や着物市などのイベントを毎月行い、カテゴリー単位の商品を豊富に品揃えすることで、お客様の満足度向上を図りました。

店舗面におきましては、当第２四半期連結会計期間末の直営店舗数は149店舗、ＦＣ店舗数は25店舗となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は32,930百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益285百万円（前年同期比△32.7%減）、経常利益354百万円（前年同期比△24.7%減）、四半期純利益49百万円（前年同期は761百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメントの業績は、WonderGOO事業の売上高は27,930百万円（前年同期比1.4%減)、営業利益は149百万円（前年同期比57.3%減)、WonderREX事業の売上高は2,633百万円（前年同期比12.8%増)、営業利益は76百万円（前年同期比55.0%増）、その他事業の売上高は134百万円（前年同期比316.5%増)、営業利益は13百万円（前年同期比47.0%減)、また、当第２四半期連結累計期間において、株式会社サンレジャーを連結子会社化したことに伴い、新たにTSUTAYA事業を追加しており、TSUTAYA事業の売上高は2,232百万円、営業利益は46百万円となりました。

（２）財政状態の分析

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,197百万円増加し、29,944百万円となりました。主な増加は、株式会社サンレジャーを子会社化したこと等により「流動資産」が1,521百万円、「有形固定資産」が409百万円、「無形固定資産」が660百万円、「投資その他の資産」が606百万円それぞれ増加しました。

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,054百万円増加し、19,627百万円となりました。主な増加は、株式会社サンレジャーを子会社化したこと等により「流動負債」が2,283百万円、「固定負債」が770百万円それぞれ増加しました。

当第２四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、10,317百万円となりました。これは主に四半期純利益49百万円の増加と、剰余金の配当127百万円の支払い、自己株式の処分212百万円によるものです。

（３）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ552百万円増加し、1,516百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に利息の支払いにより60百万円資金が減少したものの、減価償却費が512百万円、税金等調整前四半期純利益が226百万円発生したことにより、1,088百万円の資金の増加（前年同四半期は７百万円の資金の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得249百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得に449百万円を支出したことにより、577百万円の減少（前年同四半期は231百万円の資金の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出により763百万円、配当金の支払が129百万円、リース債務の返済による支出で58百万円資金が減少したものの、短期借入金の純増額により561百万円、長期借入れによる収入により200百万円、自己株式の売却による収入により231百万円増加したことにより41百万円の増加（前年同四半期は106百万円の資金の減少）となりました。

（４）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（５）従業員数

当第２四半期連結累計期間において、株式会社サンレジャーを連結子会社化したことに伴い、TSUTAYA事業に107名の従業員数が増加しました。

また、当該連結子会社が加わったことにより、セグメントの名称として新たにTSUTAYA事業を追加しております。

なお、従業員数は就業人員数（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であります。

第３ 【提出会社の状況】

１ 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	124,720
計	124,720

② 【発行済株式】

種類	第２四半期会計期間末現在発行数(株)(平成24年８月31日)	提出日現在発行数(株)(平成24年10月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	54,036	54,036	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株制度を採用しておりません。
計	54,036	54,036	―	―

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年６月１日～平成24年８月31日	―	54,036	―	2,358,900	―	2,360,793

(6) 【大株主の状況】

平成24年８月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社カスミ	茨城県つくば市西大橋599番地1	24,042	44.5
株式会社ケーズホールディングス	茨城県水戸市柳町1丁目13番20号	11,022	20.4
日 下 孝 明	東京都渋谷区	2,887	5.3
株式会社デンコードー	宮城県名取市上余田字千刈田308番地	2,160	4.0
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	大阪市北区梅田2丁目5番25号	1,683	3.1
小　林　哲　美	茨城県つくば市	1,000	1.9
野村信託銀行株式会社（投信口）	東京都千代田区大手町2丁目2番2号	891	1.6
ワンダーコーポレーション従業員持株会	茨城県つくば市西大橋599番地1	844	1.6
ビーエヌピー　パリバ　セキュリティーズ　サービス　ルクセンブルグ　ジャスデック　セキュリティーズ（常任代理人　香港上海銀行東京支店）	33 RUE DE GASPERICH L-5826 HOWALD-HESPERANGE LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	722	1.3
宇津木　雅　美	茨城県稲敷郡美浦村	610	1.1
計	―	45,861	84.9

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
野村信託銀行株式会社　891株

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年８月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	―	―	―
議決権制限株式(自己株式等)	―	―	―
議決権制限株式(その他)	―	―	―
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式　400	―	―
完全議決権株式(その他)	普通株式　53,636	53,636	―
単元未満株式	―	―	―
発行済株式総数	54,036	―	―
総株主の議決権	―	53,636	―

② 【自己株式等】

平成24年８月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンレジャー	東京都港区高輪２丁目15番21号	400	―	400	0.7
計	―	400	―	400	0.7

２ 【役員の状況】

該当事項はありません。

第４ 【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第２四半期連結会計期間(平成24年６月１日から平成24年８月31日まで)及び第２四半期連結累計期間(平成24年３月１日から平成24年８月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年２月29日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	964,230	1,516,370
売掛金	859,721	860,964
商品	9,457,339	10,154,873
貯蔵品	22,789	25,089
未収入金	1,513,793	1,586,203
繰延税金資産	808,361	881,536
その他	597,456	719,764
貸倒引当金	△2,563	△2,457
流動資産合計	14,221,130	15,742,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,747,782	4,930,807
その他（純額）	1,497,976	1,724,873
有形固定資産合計	6,245,758	6,655,680
無形固定資産		
のれん	―	647,710
その他	315,957	328,754
無形固定資産合計	315,957	976,465
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,716,087	5,091,777
その他	1,326,984	1,640,365
貸倒引当金	△79,265	△161,981
投資その他の資産合計	5,963,806	6,570,161
固定資産合計	12,525,523	14,202,307
資産合計	26,746,653	29,944,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年２月29日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年８月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,305,791	6,159,740
短期借入金	3,650,000	4,260,000
1年内返済予定の長期借入金	1,254,496	1,456,108
未払法人税等	21,258	196,967
賞与引当金	145,819	173,306
ポイント引当金	1,348,775	1,391,427
災害損失引当金	4,730	―
その他	1,408,112	1,785,053
流動負債合計	13,138,983	15,422,603
固定負債		
長期借入金	1,760,150	2,417,526
退職給付引当金	186,281	190,003
長期預り保証金	280,908	305,158
資産除去債務	484,914	495,889
その他	721,721	795,965
固定負債合計	3,433,975	4,204,543
負債合計	16,572,958	19,627,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,360,793	2,379,688
利益剰余金	5,625,339	5,542,867
自己株式	△212,931	△15,230
株主資本合計	10,132,103	10,266,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355	111
その他の包括利益累計額合計	355	111
新株予約権	41,236	41,068
少数株主持分	―	10,097
純資産合計	10,173,694	10,317,504
負債純資産合計	26,746,653	29,944,650

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日)
売上高	30,696,418	32,930,817
売上原価	22,653,916	23,700,370
売上総利益	8,042,501	9,230,446
販売費及び一般管理費	※ 7,618,014	※ 8,944,911
営業利益	424,486	285,535
営業外収益		
受取利息	23,830	22,276
受取手数料	49,565	61,564
その他	32,129	47,299
営業外収益合計	105,525	131,140
営業外費用		
支払利息	59,482	60,966
その他	211	1,372
営業外費用合計	59,694	62,338
経常利益	470,318	354,337
特別利益		
固定資産売却益	1,242	7,177
貸倒引当金戻入額	1,064	―
新株予約権戻入益	1,367	167
災害見舞金	22,281	―
特別利益合計	25,955	7,344
特別損失		
固定資産除却損	25,061	―
減損損失	110,128	44,608
貸倒引当金繰入額	―	90,116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	224,321	―
災害による損失	295,138	―
訴訟和解金	780,000	―
特別損失合計	1,434,649	134,724
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△938,375	226,957
法人税、住民税及び事業税	40,993	167,324
法人税等調整額	△218,245	△9,180
法人税等合計	△177,251	158,143
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△761,123	68,813
少数株主利益	―	19,085
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△761,123	49,728

【四半期連結包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△761,123	68,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△293
その他の包括利益合計	△40	△293
四半期包括利益	△761,164	68,520
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△761,164	49,484
少数株主に係る四半期包括利益	－	19,035

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△938,375	226,957
減価償却費	466,605	512,921
減損損失	110,128	44,608
のれん償却額	18,013	23,989
賞与引当金の増減額（△は減少）	△678	△5,763
退職給付引当金の増減額（△は減少）	6,343	3,722
ポイント引当金の増減額（△は減少）	38,474	42,651
受取利息及び受取配当金	△23,860	△22,398
支払利息	59,482	60,966
固定資産売却損益（△は益）	△1,242	△7,177
固定資産除却損	25,061	―
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	224,321	―
災害見舞金	△22,281	―
災害による損失	295,138	―
訴訟和解金	780,000	―
売上債権の増減額（△は増加）	85,795	30,897
たな卸資産の増減額（△は増加）	12,495	15,442
仕入債務の増減額（△は減少）	32,750	174,239
その他	47,366	52,666
小計	1,215,538	1,153,724
利息及び配当金の受取額	245	361
利息の支払額	△60,558	△60,336
災害見舞金受取額	22,281	―
災害による損失支払額	△195,255	△4,841
訴訟和解金の支払額	△780,000	―
法人税等の支払額	△209,278	△274
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,026	1,088,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△296,289	△249,195
有形固定資産の売却による収入	2,399	7,714
無形固定資産の取得による支出	△19,019	△20,376
貸付金の回収による収入	―	575
投資有価証券の取得による支出	△30,000	―
貸付けによる支出	―	△39,680
敷金及び保証金の差入による支出	△42,516	△62,110
敷金及び保証金の回収による収入	161,779	247,661
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	―	△449,387 ※2
その他	△8,208	△12,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231,855	△577,753

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	300,000	561,000
長期借入れによる収入	850,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△1,088,138	△763,246
リース債務の返済による支出	△41,245	△58,983
配当金の支払額	△126,935	△129,337
自己株式の売却による収入	―	231,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,319	41,259
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△345,201	552,139
現金及び現金同等物の期首残高	1,748,969	964,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,403,767 ※1	1,516,370 ※1

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日　至　平成24年８月31日)
（連結の範囲の重要な変更） 当第２四半期連結会計期間において、株式会社サンレジャーの株式を取得（子会社化）したことにより、株式会社サンレジャーを連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日　至　平成24年８月31日)
第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号　平成21年12月４日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日)
従業員給料及び賞与	2,977,915千円	3,377,972千円
賞与引当金繰入額	141,498千円	173,306千円
退職給付費用	53,116千円	56,849千円
水道光熱費	338,547千円	466,908千円
減価償却費	453,898千円	497,303千円
地代家賃	1,337,691千円	1,544,942千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※１　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日)
現金及び預金	1,403,767千円	1,516,370千円
現金及び現金同等物	1,403,767千円	1,516,370千円

※２　株式の取得により、新たに㈱サンレジャーを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに㈱サンレジャー株式の取得価額と株式取得による支出（純額）との関係は次のとおりです。

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年３月１日　至　平成24年８月31日)

流動資産	1,196,102 千円
固定資産	1,511,414 千円
のれん	671,700 千円
流動負債	△1,353,598 千円
固定負債	△1,353,135 千円
少数株主持分	△782 千円
㈱サンレジャー株式の取得価額	671,700 千円
投資有価証券からの振替	△30,000 千円
㈱サンレジャーの現金及び現金同等物	△192,312 千円
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	449,387 千円

(株主資本等関係)

前第２四半期連結累計期間(自　平成23年３月１日　至　平成23年８月31日)

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年４月14日取締役会	普通株式	127,872	2,500	平成23年２月28日	平成23年５月11日	利益剰余金

２．基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年３月１日　至　平成24年８月31日)

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年４月９日取締役会	普通株式	127,872	2,500	平成24年２月29日	平成24年５月９日	利益剰余金

２．基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

当社は、平成24年４月26日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式の処分することを決議し、平成24年６月１日付で普通株式2,887株を処分いたしました。この結果、当第２四半期連結累計期間において資本剰余金が18,895千円増加、自己株式が212,931千円減少し、当第２四半期連結会計期間末において資本剰余金は2,379,688千円、自己株式は15,230千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年３月１日　至　平成23年８月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	WonderGOO	WonderREX	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,330,037	2,334,131	30,664,168	32,250	30,696,418	―	30,696,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	824	824	△824	―
計	28,330,037	2,334,131	30,664,168	33,074	30,697,243	△824	30,696,418
セグメント利益	349,638	49,520	399,159	25,327	424,486	―	424,486

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年３月１日 至 平成24年８月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	WonderGOO	WonderREX	TSUTAYA	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,930,218	2,633,409	2,232,866	32,796,494	134,322	32,930,817	―	32,930,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	5,868	5,868	12,848	18,716	△18,716	―
計	27,930,218	2,633,409	2,238,734	32,802,362	147,170	32,949,533	△18,716	32,930,817
セグメント利益	149,191	76,732	46,185	272,109	13,425	285,535	―	285,535

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

下記「４．報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、報告セグメントを新たに追加しております。これによる影響は、前連結会計年度の末日に比べ、当第２四半期連結会計期間末の「TSUTAYA事業」セグメントの資産の額が3,564,853千円増加しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

下記「４．報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、報告セグメントを新たに追加しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第２四半期連結累計期間においては、671,700千円であります。

４．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの追加）

当第２四半期連結会計期間において、株式会社サンレジャーを当社の連結子会社とし、報告セグメント「TSUTAYA事業」を新たに追加しております。

（企業結合等関係）

当第２四半期連結会計期間(自　平成24年６月１日　至　平成24年８月31日)

１．取得による企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称　　株式会社サンレジャー

事業の内容　　ＤＶＤ、ＣＤ、雑誌、ゲームの販売及びＤＶＤ、ＣＤのレンタル

(2) 企業結合を行った主な理由

当社及び株式会社サンレジャーは、当社が持つＤＶＤ・ＣＤ・ゲーム等のセル及びリサイクルに関するノウハウと、株式会社サンレジャーが持つＤＶＤ・ＣＤのレンタルに関するノウハウを相互に提供することにより、両社の企業価値の向上を図ることを目的として平成23年７月21日に資本業務提携契約書を締結し、業務提携の詳細について協議・検討を行ってまいりました。

両社が属するエンタテインメント小売業界におきましては、ネット通販や電子書籍、音楽・映像のコンテンツ配信等、商品やサービスを得る手段の多様化により、業種業態を超えた企業間競争が激化し、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、今後は、当社と重複しない地域における株式会社サンレジャー店舗を更なる大型店舗として移転増床することで、当社の更なる事業拡大を図ります。更には当社より人員の派遣、運営・管理手法や仕入の共有化等の強みを活用することによりシナジーの強化を図るため、同社株式の追加取得を行い、子会社化したものであります。

(3) 企業結合日

平成24年６月１日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社サンレジャー

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有している議決権比率	**2.90%**
企業結合日に追加取得した議決権比率	**58.14%**
取得後の議決権比率	**61.04%**

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の61.04%を獲得したためであります。

２．四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年６月１日から平成24年８月31日まで

３．被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	従来から保有している株式会社サンレジャーの株式の企業結合日における時価	30,000千円
	企業結合日において取得する株式会社サンレジャーの株式の時価	602,400千円
取得に直接要した費用	アドバイザリー費用等	39,300千円
合計		671,700千円

４．被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

―千円

５．企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	1,196,102 千円
固定資産	1,511,414 千円
資産合計	2,707,516 千円
流動負債	1,353,598 千円
固定負債	1,353,135 千円
負債合計	2,706,734 千円
少数株主持分	782 千円

６．発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

671,700千円

(2) 発生原因

企業結合時の時価純資産の持分が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

(3) 償却方法及び償却期間

７年間にわたる均等償却

(１株当たり情報)

１株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日)
１株当たり四半期純利益金額又は １株当たり四半期純損失金額（△）	△14,880円52銭	951円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失（△）(千円)	△761,123	49,728
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額（△）(千円)	△761,123	49,728
普通株式の期中平均株式数(株)	51,149	52,282

(注)　潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

２ 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月10日

株式会社 ワンダーコーポレーション
　取締役会　御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大　髙　俊　幸　印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	陸　田　雅　彦　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワンダーコーポレーションの平成24年３月1日から平成25年２月28日までの連結会計年度の第２四半期連結会計期間(平成24年６月１日から平成24年８月31日まで)及び第２四半期連結累計期間(平成24年３月１日から平成24年８月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワンダーコーポレーション及び連結子会社の平成24年８月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第２四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

(注) 1　上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2　四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。